

第 10 回岐阜市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 次第

日時 令和 3 年 7 月 20 日（火）午後 6 時 15 分～

場所 庁舎 6 階 6-1 大会議室

1 発生状況について

資料 1

2 岐阜県の対応について

資料 2

3 その他

【配布資料】

資料 1 岐阜市における新型コロナウイルス感染症の感染者の発生状況について(R3.7.19 公表時点)

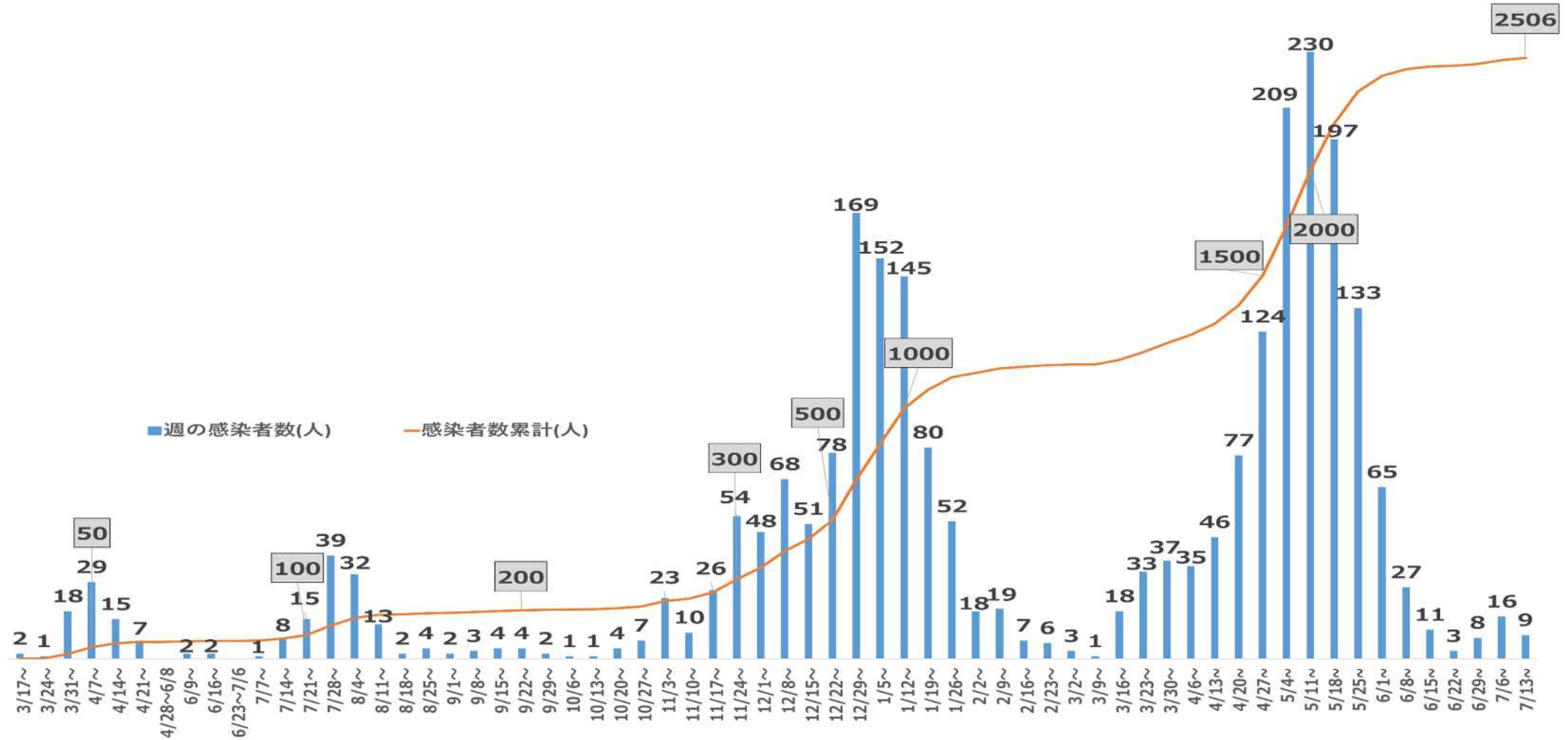
資料 2 岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会(第 26 回)対策本部本部員会議(第 38 回)

参考 1 岐阜市新型コロナウイルス感染症対策本部会議席表

岐阜市における新型コロナウイルス感染症の感染者の発生状況について（R3. 7. 19 公表時点）

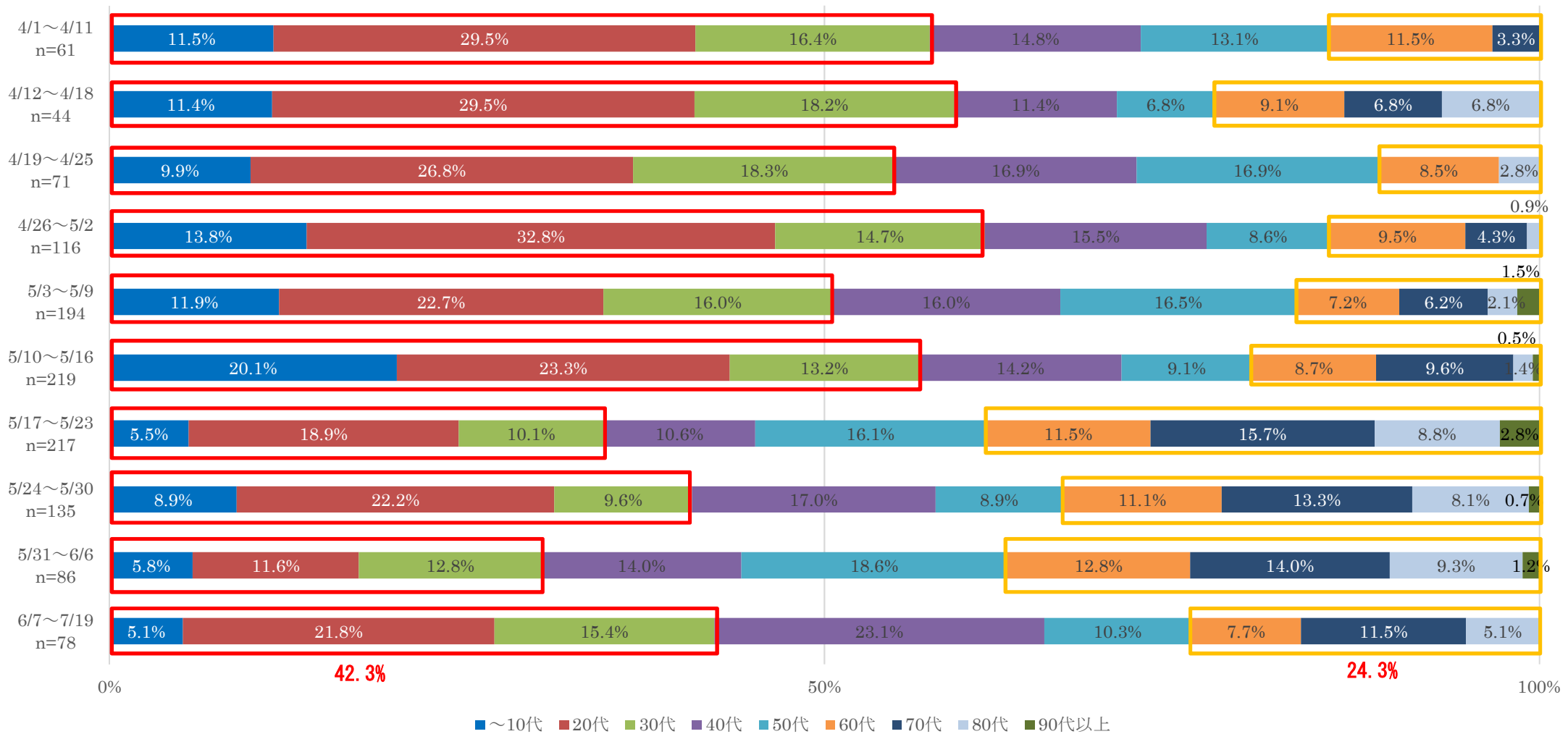
1 感染者数推移（週計）

- ・ 累計2,506人の感染者が発生。4月は253人、5月は829人であったが、6月は108人と減少した。7月は約3週間で31人と低い水準となっている。
- ・ 一週間（7/12～7/18）の人口10万人あたりの感染者数は、3.19人である。（同時期との比較 全国：16.51人 岐阜県：3.47人 愛知県：6.53人）



2 年代別割合の比較（令和 3 年 4 月以降）

- ・ 30代以下が**42.3%**、60代以上が**24.3%**となっている。
- ・ 4月から5月前半までは30代以下の若い世代が半数以上を占めていたが、5月後半から6月上旬までは60代以上が30～40%で推移していた。
- ・ 6月以降、若い世代が増加し、高齢者世代が減少する傾向が見られる。



※割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない場合があります

岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会（第 26 回）
対策本部本部員会議（第 38 回）

日 時：令和 3 年 7 月 20 日（火）
14：00～

場 所：県庁 4 階 特別会議室

1 県内の感染状況

資料 1

2 県の対策

（1）夏の感染リスクに十分な警戒を（案）

資料 2－1

（2）東京 2020 大会に係る県内の事前合宿受け入れ状況

資料 2－2

（3）ワクチンの接種状況について

資料 2－3

**岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会（第26回） 対策本部本部員会議（第38回） 出席者名簿**

日時：令和3年7月20日（火）14:00～
場所：岐阜県庁4階 特別会議室

1 市町村

市名	氏名等	備考	町村名	氏名等	備考
岐阜市	中村 こず枝 保健衛生部長 兼保健所長	T V	岐南町	小島 英雄 町長	T V
大垣市	石田 仁 市長	T V	笠松町	古田 聖人 町長	T V
高山市	國島 芳明 市長	T V	養老町	大橋 孝 町長	T V
多治見市	古川 雅典 市長	T V	垂井町	早野 博文 町長	T V
関市	尾関 健治 市長	T V	関ヶ原町	西脇 康世 町長	T V
中津川市	青山 節児 市長	T V	神戸町	藤井 弘之 副町長	T V
美濃市	武藤 鉄弘 市長	T V	輪之内町	木野 隆之 町長	T V
瑞浪市	勝 康弘 副市長	T V	安八町	堀 正 町長	T V
羽島市	松井 聡 市長	T V	揖斐川町	岡部 栄一 町長	T V
恵那市	小坂 喬峰 市長	T V	大野町	林 幸博 総務部長兼 危機管理監	T V
美濃加茂市	伊藤 誠一 市長	T V	池田町	岡崎 和夫 町長	T V
土岐市	加藤 淳司 市長	T V	北方町	畑中 章吾 総務危機管理 課主幹	T V
各務原市	浅野 健司 市長	T V	坂祝町	柴山 佳也 町長	T V
可児市	富田 成輝 市長	T V	富加町	板津 徳次 町長	T V
山県市	林 宏優 市長	T V	川辺町	佐藤 光宏 町長	T V
瑞穂市	梶浦 要 副市長	T V	七宗町	加納 福明 町長	T V
飛騨市	都竹 淳也 市長	T V	八百津町	金子 政則 町長	T V
本巣市	大野 一彦 副市長	T V	白川町	佐伯 正貴 副町長	T V
郡上市	日置 敏明 市長	T V	東白川村	今井 俊郎 村長	T V
下呂市	山内 登 市長	T V	御嵩町	渡邊 公夫 町長	T V
海津市	横川 真澄 市長	T V	白川村	成原 茂 村長	T V

2 各種団体

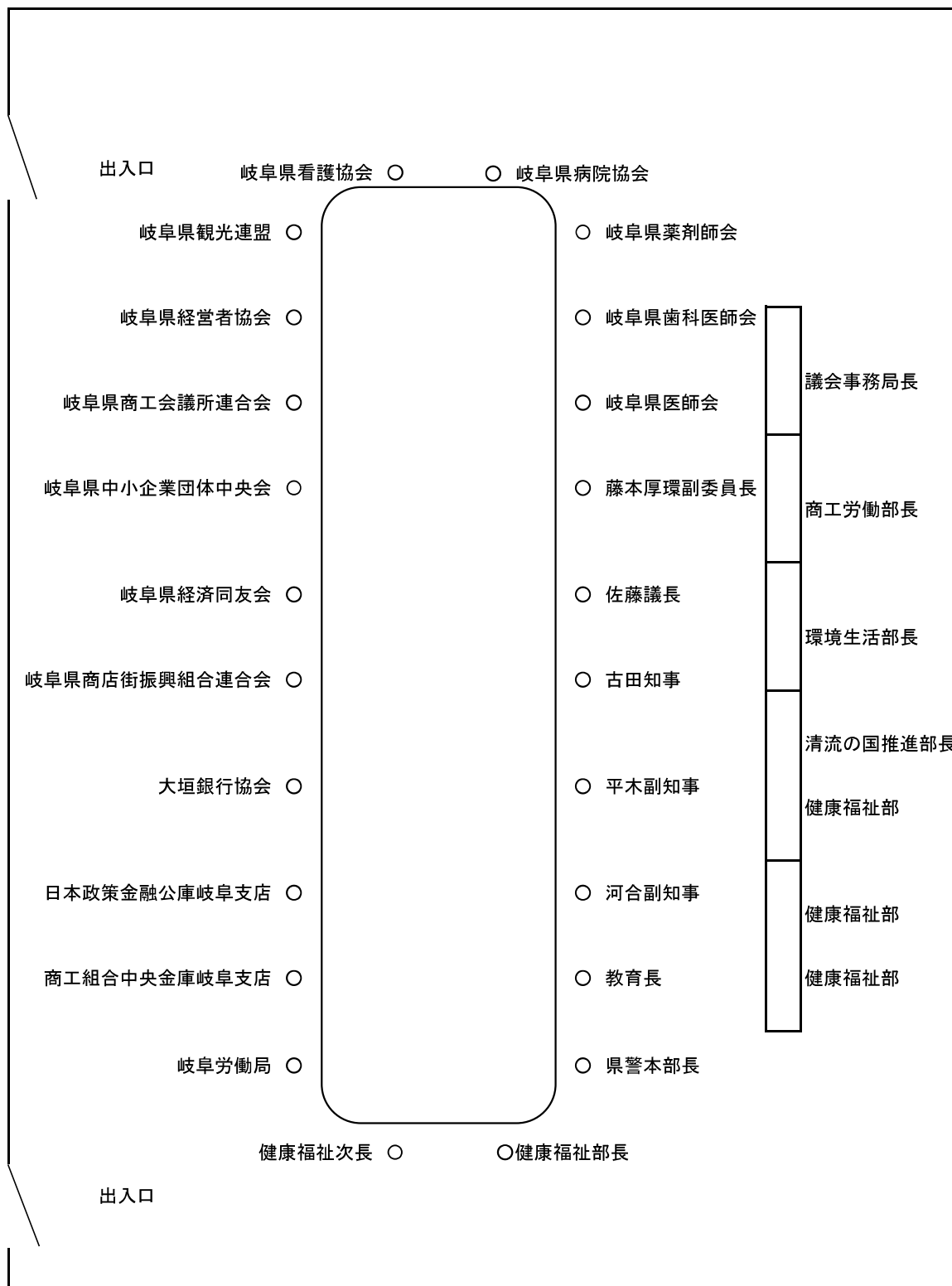
団体名	氏名等	団体名	氏名等
岐阜県医師会	河合 直樹 会長	岐阜県中小企業団体中央会	今井 哲夫 会長
岐阜県歯科医師会	阿部 義和 会長	岐阜県経済同友会	鈴木 良春 筆頭代表幹事
岐阜県薬剤師会	有川 幸孝 専務理事	岐阜県商店街振興組合連合会	日比野 豊 理事長
岐阜県病院協会	富田 栄一 会長	大垣銀行協会	竹中 哲夫 公務金融部長
岐阜県看護協会	青木 京子 会長	日本政策金融公庫 岐阜支店	小戎 力 中小企業事業統轄
岐阜県観光連盟	桂川 淳 常務理事	商工組合中央金庫 岐阜支店	前島 晋介 支店次長
岐阜県経営者協会	山口 嘉彦 会長	岐阜労働局	畑 俊一 局長
岐阜県商工会議所連合会	村瀬 幸雄 会長		

3 県

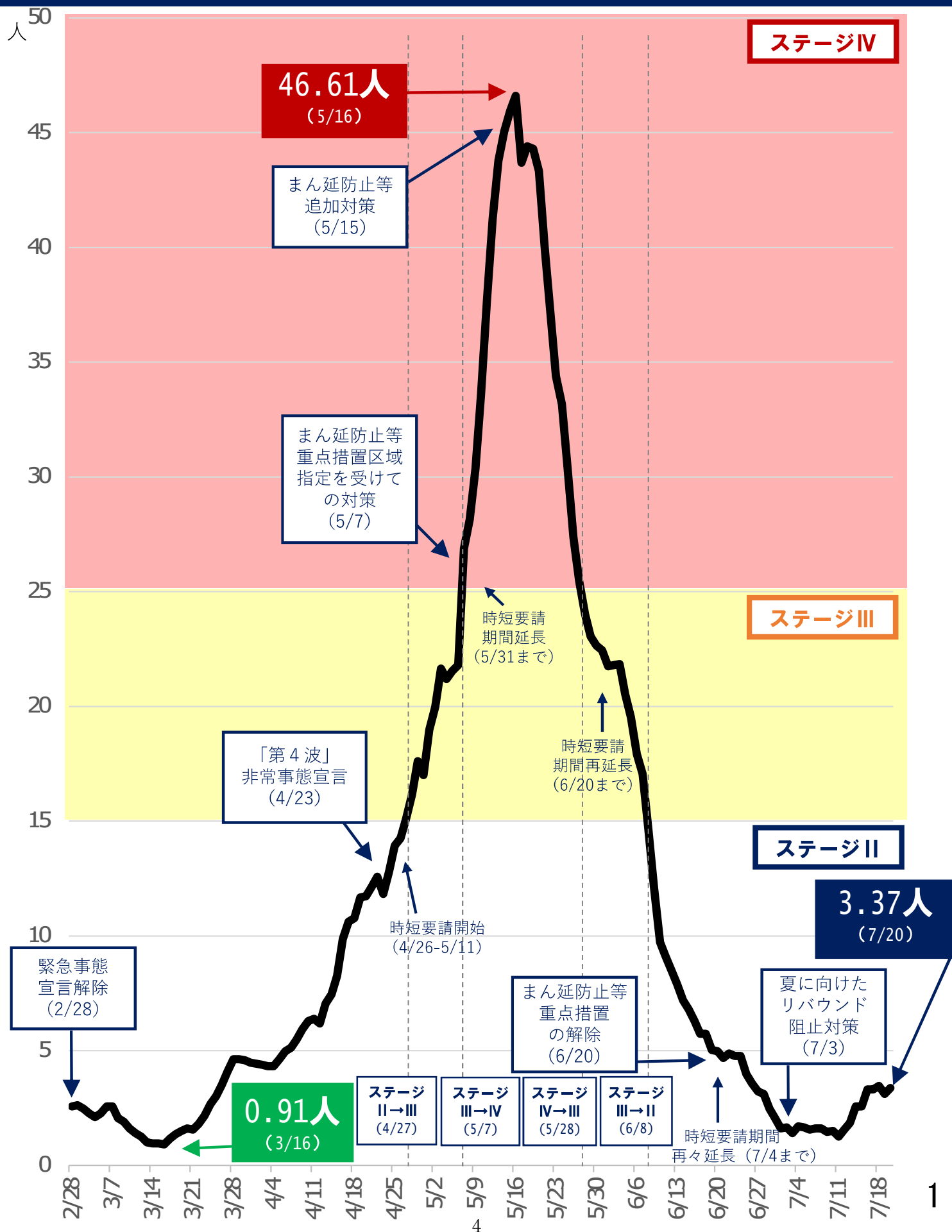
	氏名		氏名
知事	古田 肇	子ども・女性局長	安江 真美
議長	佐藤 武彦	商工労働部長	崎浦 良典
厚生環境委員会副委員長	藤本 恵司	観光国際局長	矢本 哲也
副知事	平木 省	農政部長	長尾 安博
副知事	河合 孝憲	林政部長	高井 峰好
教育長	堀 貴雄	県土整備部土木技監	野崎 眞司
警察本部長	奥野 省吾	都市建築部次長	朝倉 和仁
秘書広報統括監	尾鼻 智	都市公園整備局長	湯澤 将憲
総務部長	横山 玄	会計管理者	西垣 功朗
清流の国推進部長	丸山 淳	議会事務局長	服部 敬
危機管理部長	渡辺 正信	人事委員会事務局長	村田 嘉子
環境生活部長	内木 禎	監査委員事務局長	三田村 俊史
県民文化局長	市橋 貴仁	労働委員会事務局長	樋口 博久
健康福祉部長	堀 裕行	健康福祉部次長	竈橋 智基

岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会(第26回) 対策本部本部員会議(第38回) 配席図

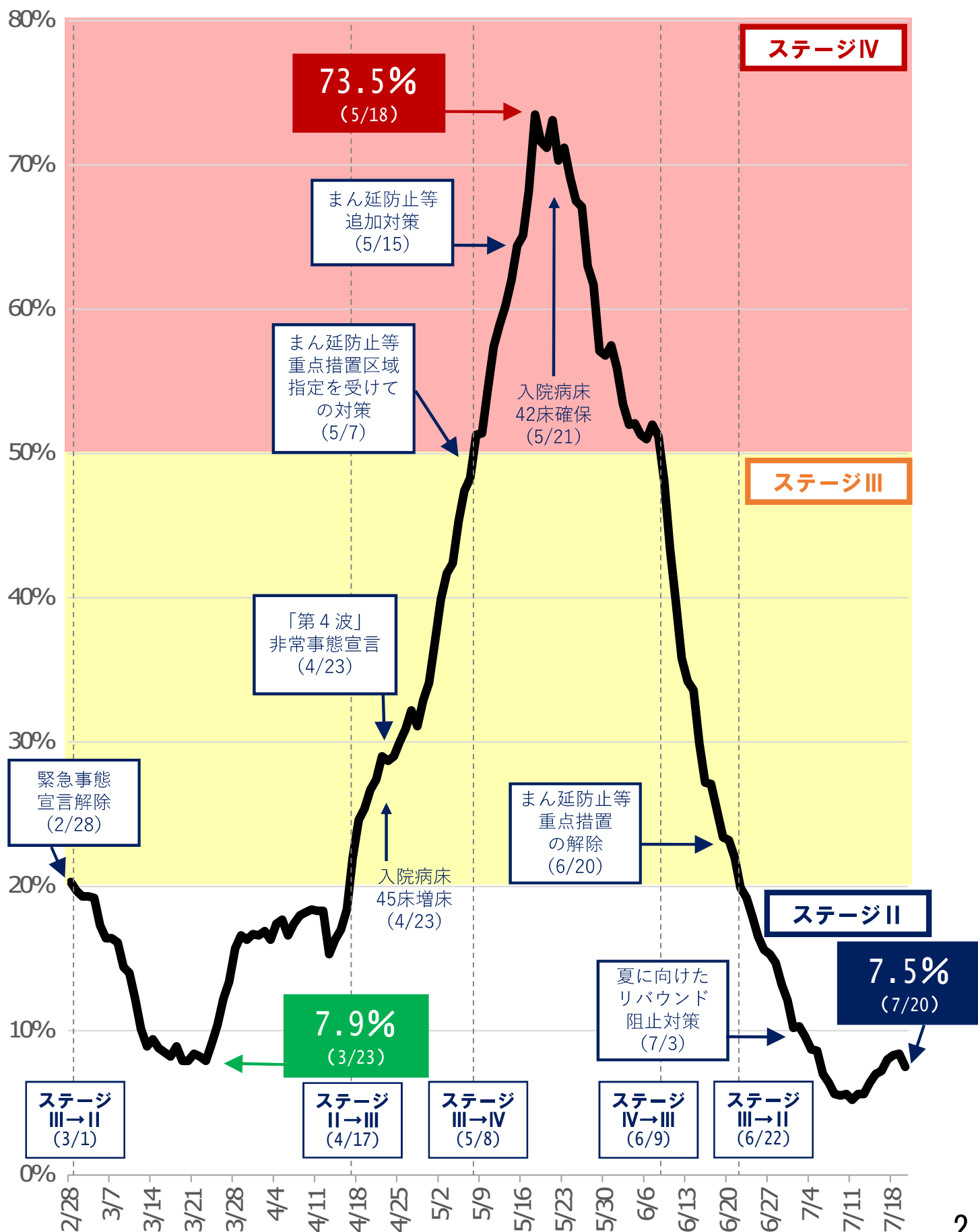
令和3年7月20日(火)14:00～
4階特別会議室



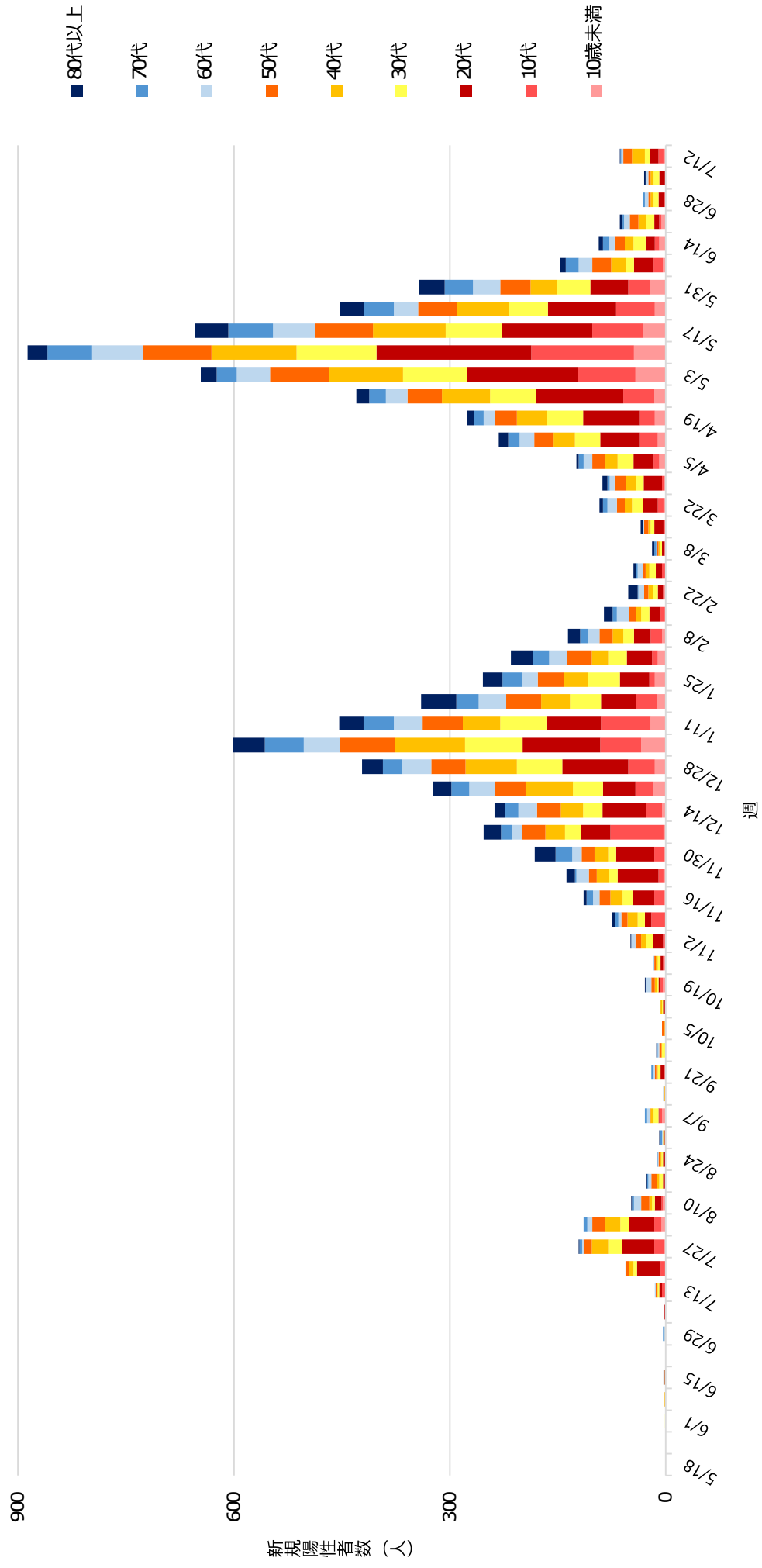
県の10万人あたり新規感染者数 (7日間移動合計)の推移と県の対策



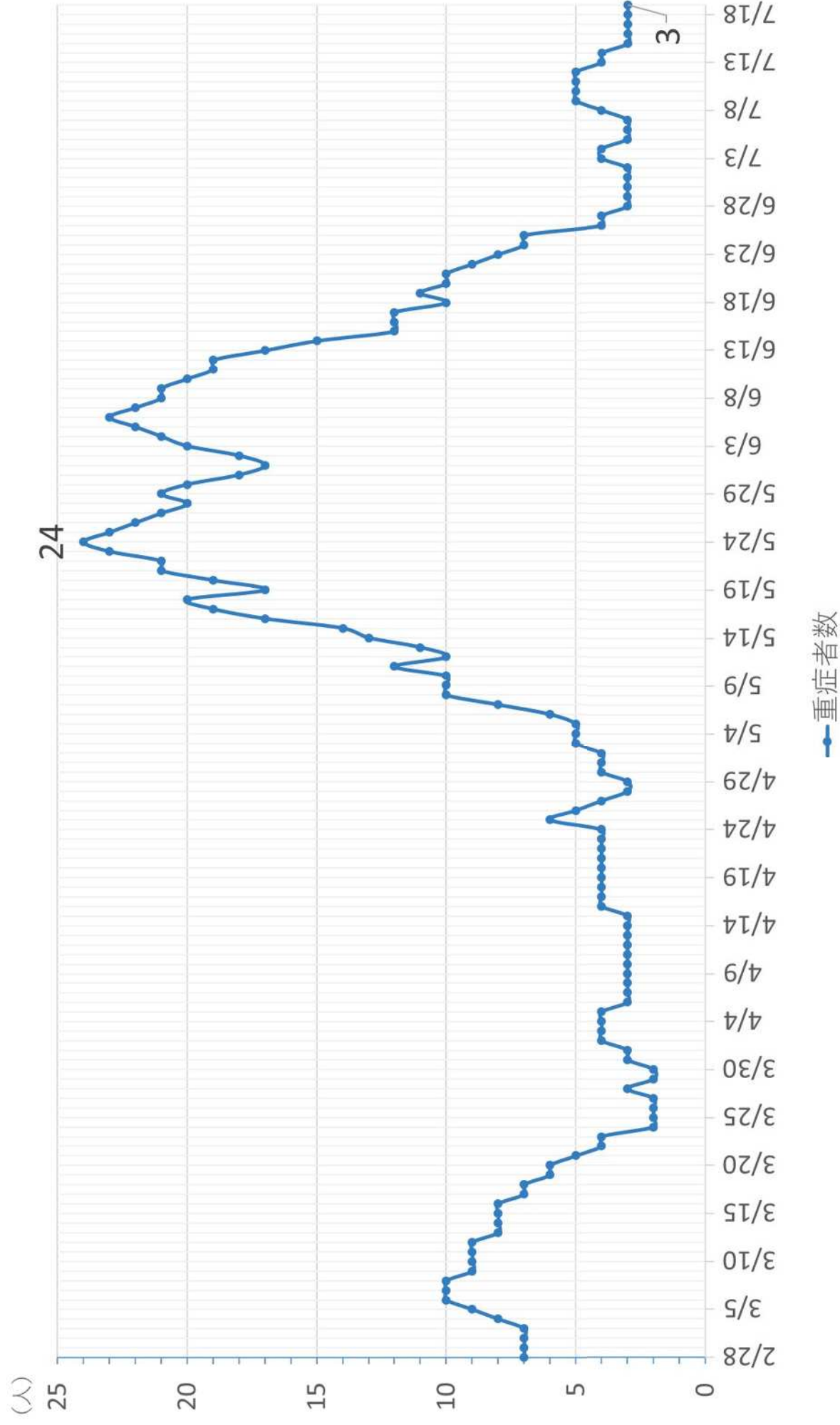
県の病床使用率の推移と対策



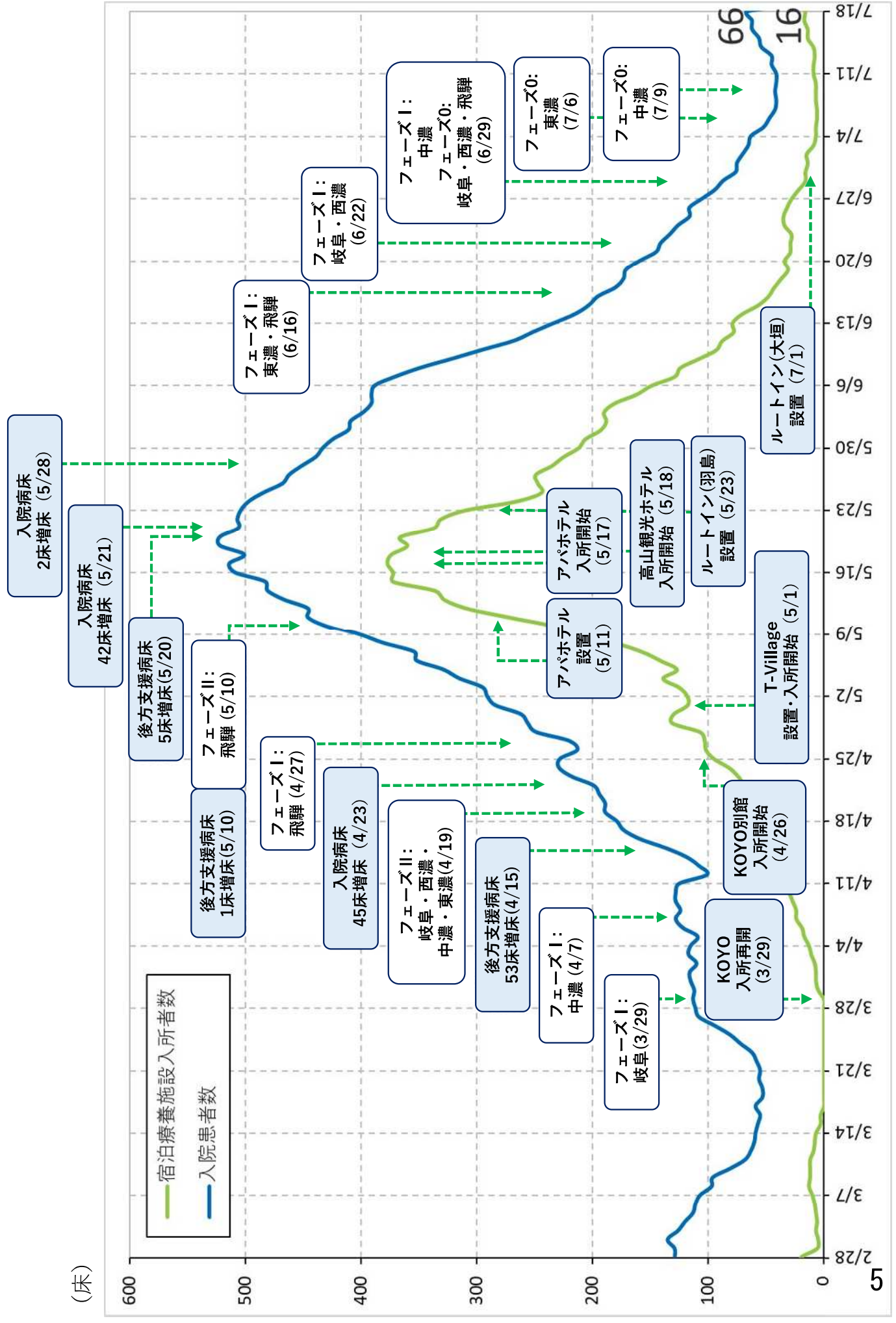
週別・年代別・新規患者数推移



岐阜県の重症者の推移

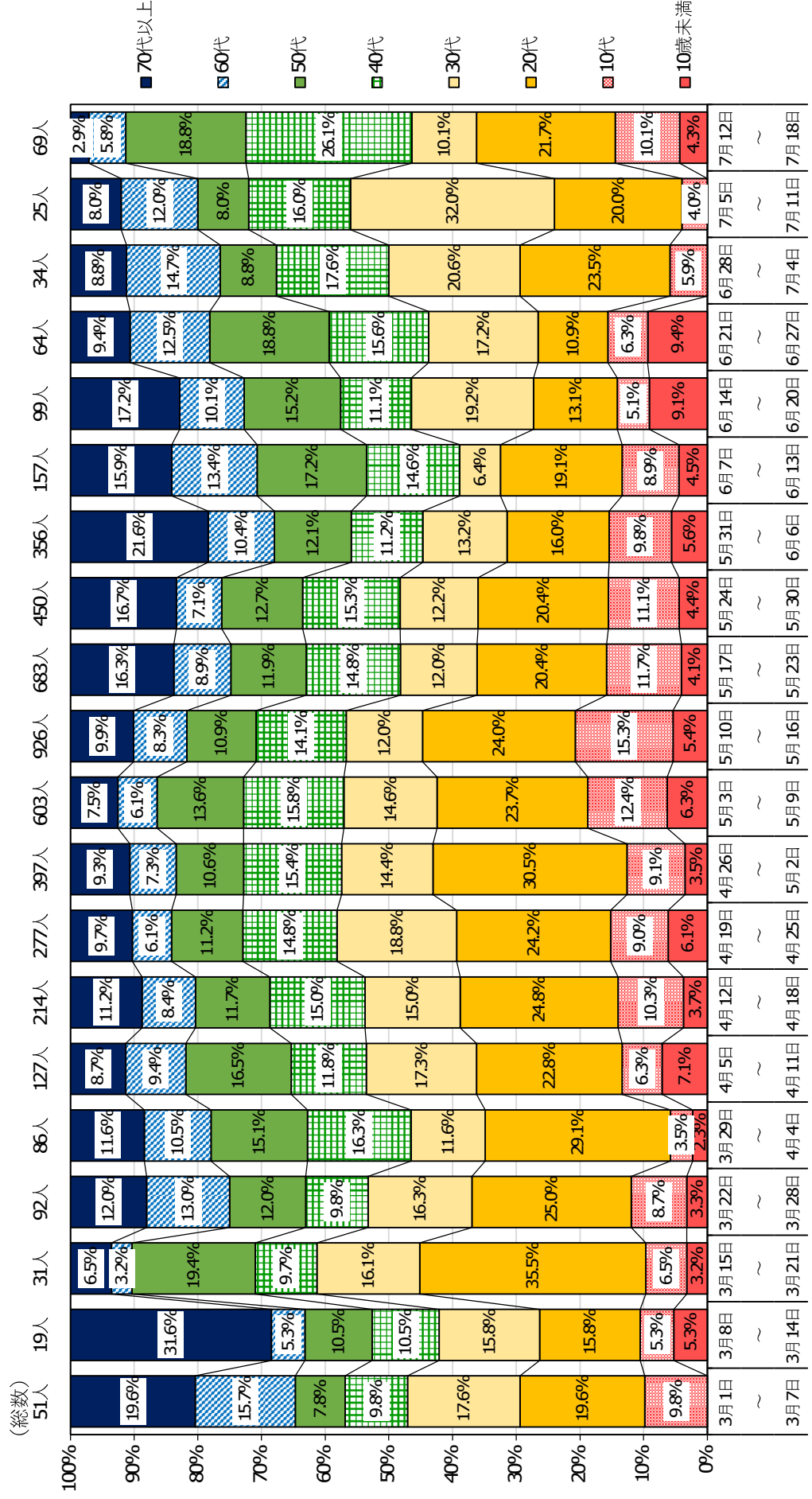


岐阜県の入院病床・宿泊療養施設について



感染状況の分析 感染者の年齢構成

40代・50代の割合が増加傾向



直近一週間の市町村別患者数（7/13～7/19）

	7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日	7月19日	合計	
岐阜市	4	5	1	4	1	0	0	15	岐阜市
大垣市	0	0	0	0	0	0	0	0	大垣市
高山市	0	0	0	1	0	0	0	1	高山市
多治見市	1	6	0	0	0	0	0	7	多治見市
関市	0	0	0	2	0	0	0	2	関市
中津川市	0	0	0	0	0	0	0	0	中津川市
美濃市	0	0	0	0	0	0	0	0	美濃市
瑞浪市	1	0	0	0	0	0	0	1	瑞浪市
羽島市	0	0	0	0	0	0	0	0	羽島市
恵那市	1	1	0	0	0	0	0	2	恵那市
美濃加茂市	0	0	1	4	0	0	0	5	美濃加茂市
土岐市	1	0	1	0	1	1	0	4	土岐市
各務原市	0	0	0	2	2	1	0	5	各務原市
可児市	0	1	1	1	0	2	1	6	可児市
山県市	0	0	0	0	1	2	0	3	山県市
瑞穂市	0	0	0	0	0	0	0	0	瑞穂市
飛騨市	0	0	0	0	0	0	0	0	飛騨市
本巣市	0	0	0	0	0	0	0	0	本巣市
郡上市	0	0	0	0	0	0	0	0	郡上市
下呂市	0	0	0	0	0	0	0	0	下呂市
海津市	0	0	0	0	0	0	0	0	海津市

	7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日	7月19日	合計	
岐南町	0	1	0	0	0	0	0	1	岐南町
笠松町	0	2	0	2	0	0	0	4	笠松町
養老町	0	0	0	0	0	0	0	0	養老町
垂井町	0	0	0	0	0	0	0	0	垂井町
関ヶ原町	0	0	0	0	0	0	0	0	関ヶ原町
神戸町	0	0	0	0	0	0	0	0	神戸町
輪之内町	0	0	0	0	0	0	0	0	輪之内町
安八町	0	0	0	0	0	0	0	0	安八町
揖斐川町	0	0	0	0	0	0	0	0	揖斐川町
大野町	0	0	0	0	0	0	0	0	大野町
池田町	0	0	0	0	0	0	0	0	池田町
北方町	1	0	0	0	0	0	0	1	北方町
坂祝町	0	0	0	0	0	0	0	0	坂祝町
富加町	0	0	0	0	0	0	0	0	富加町
川辺町	0	1	0	0	0	0	0	1	川辺町
七宗町	0	0	0	0	0	0	0	0	七宗町
八百津町	0	0	0	1	0	0	0	1	八百津町
白川町	0	0	0	0	0	0	0	0	白川町
東白川村	0	0	0	0	0	0	0	0	東白川村
御嵩町	0	1	0	0	0	0	0	1	御嵩町
白川村	0	0	0	0	0	0	0	0	白川村
県外その他	0	0	0	2	0	0	0	2	県外その他
合計	9	18	4	19	5	6	1	62	合計
発生市町村数	6	8	4	8	4	4	1	17	発生市町村数

夏の感染リスクに十分な警戒を(案)

令和3年7月20日決定

岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部

実施期間：令和3年7月22日から8月31日まで

本県では、「まん延防止等重点措置」区域の指定解除後も、第4波の終息と夏に向けたリバウンド阻止のため、途切れることなく、新型コロナウイルス対策に取り組んでまいりました。

現在、10万人あたり新規感染者数（7日間移動合計）、病床使用率ともにステージⅡ以下の水準を約1か月維持できていますが、徐々に増加しています。また、高齢者へのワクチン接種が進む一方で、40～50歳代の感染割合が増加しています。

こうした中、いよいよ、人流が活発化する本格的な「夏」が到来します。昨年度の第2波でも、夏休みとともに感染者が急増しました。

加えて、感染力が非常に強いデルタ株への置き換えりが世界規模で進みつつあります。我が国でも、特に首都圏においてデルタ株が増加し、第5波の到来との指摘もあります。また、依然、東京オリンピック・パラリンピックを契機とした更なる人流拡大も懸念されます。

こうした感染再拡大のリスクが高まるこの夏をいかに乗り切るのか。これは我々一人ひとりの行動にかかっています。

県民、事業者の皆様には、引き続き、変異株にも有効なマスク着用、手指衛生、密の回避、体調管理といった基本的な感染防止対策や、感染拡大地域との往来自粛を心掛けるなど、ご自身のみならず、ご家族、ご友人の命を守るための行動を徹底いただくようお願い申し上げます。

県としても、以下のとおり基本的な感染防止対策の徹底・継続、デルタ株を念頭においた検査・分析体制の強化、「自宅療養者ゼロ」堅持のための病床・宿泊療養施設の拡充、さらには高齢者への接種を7月末までに終わるとともに、全ての希望する方への接種を11月までに完了できるよう、着実なワクチン接種を推進し、ステージⅡ以下を維持してまいります。

（別添：対策の詳細版）

本対策の期間は、夏休みシーズンである8月31日までとし、さらに感染や医療提供体制の状況変化によっては、機動的に必要な措置を講じてまいります。

対策1 夏対策

＜夏のリスク回避＞

- 帰省については、これに伴う感染拡大を阻止するため、慎重に判断（特に感染拡大地域からの帰省は自粛）
- 親戚同士の集まりや同窓会など普段会わない人との会合・飲食の自粛
- 感染拡大地域への旅行・レジャーは自粛、バーベキューは同居家族で
- 花火や夏祭りなどは、人と人との十分な間隔を設けて開催
- 事業者は夏季休暇の取得可能期間を幅広く設定し、従業員の休暇を分散
- 学校運営における夏季期間中の感染防止対策
 - ・児童生徒や保護者に対し、家族全員での感染防止対策徹底を予め周知
 - ・練習試合等は日帰りを基本とするなど、部活動の感染防止対策を徹底

＜オリンピック（7/23～8/8）・パラリンピック対策（8/24～9/5）＞

- 自宅や飲食店等での飲酒・飲食を伴う大人数のテレビ観戦の自粛
- バブル方式による事前合宿の感染防止対策徹底
 - ・選手団、関係者全員がマニュアルを遵守し、感染防止対策を徹底
 - ・選手団と接触する関係者へのワクチン接種

対策2 感染防止対策の徹底（継続）

＜基本対策＞

- マスク着用、手指衛生、密回避、体調管理の徹底・継続
- 慎重な外出・移動
 - ・出張をはじめ、首都圏など感染拡大地域との往来の自粛
- 飲食時の感染リスクの徹底回避
 - ・少人数、短時間、深酒・大声なし、会話時はマスク着用
 - ・飲食は、「新型コロナ対策実施店舗向けステッカー」掲出の感染防止対策が徹底された店舗を利用

＜飲食店支援＞

- 飲食店等における感染防止対策の徹底
 - ・マスク推奨、換気、アクリル板等間隔の確保、手指消毒を徹底
 - ・アクリル板補助金の補助対象期間を昨年度購入分まで拡大

- ・新型コロナ対策実施店舗向けステッカーを認証制度として明確化
感染防止対策が不十分な場合、取消しも視野に実地調査を推進
- ・クラスター発生店は現地調査を行い、感染防止対策と営業再開を支援

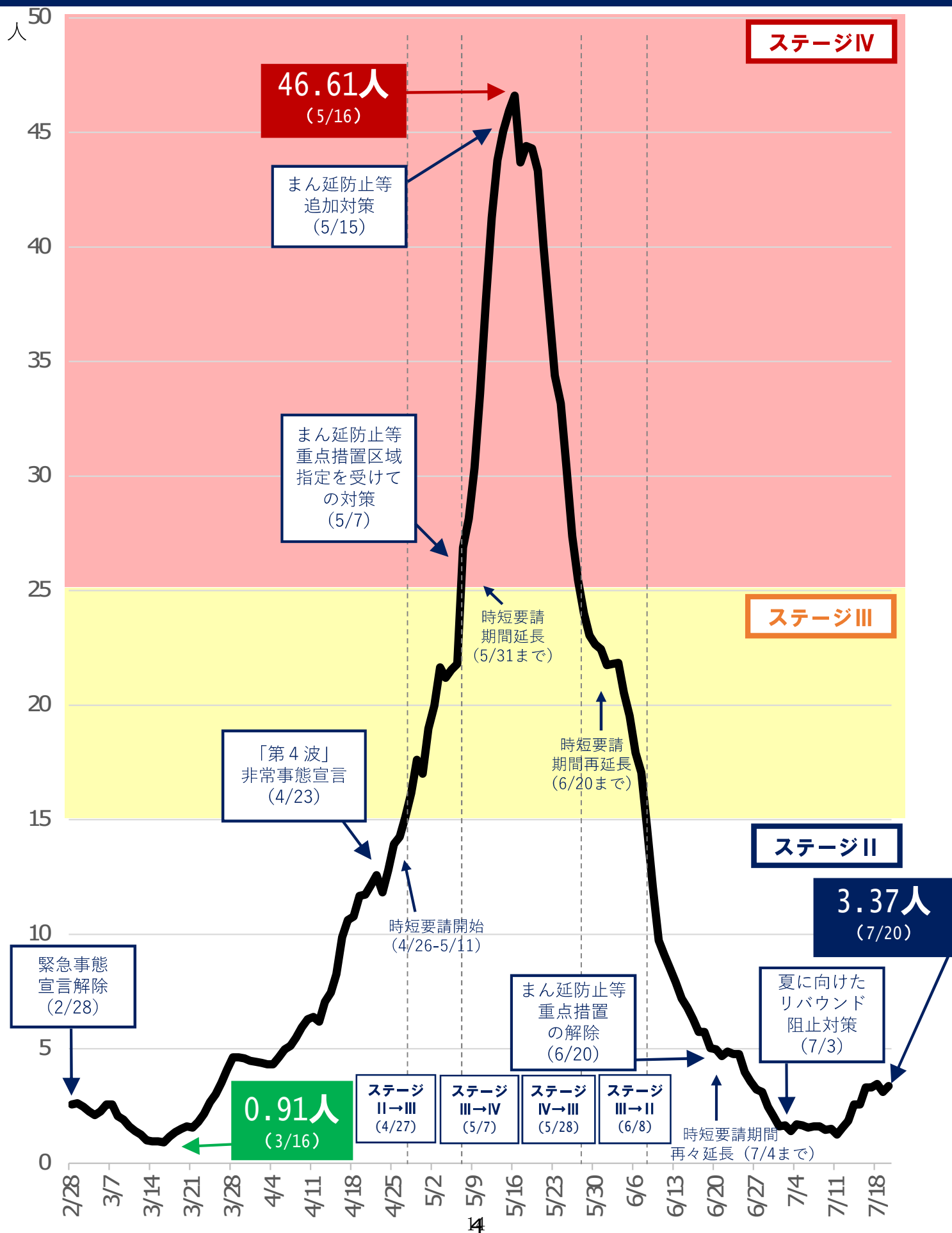
対策3 デルタ株を念頭に置いた検査・医療体制の強化

- 県保健環境研究所で陽性となった全ての検体をスクリーニング
 - ・新たに導入した次世代シーケンサー（7/16稼働）を活用
- 予防的検査の拡大
 - ・高齢者・障がい者入所施設での検査を継続実施
 - ・通所・訪問系事業所やケアマネ事業所でも検査を実施（7/15～）
 - ・特別支援学校も対象に追加（8月中旬以降）
- 「自宅療養者ゼロ」堅持のための病床・宿泊療養施設の更なる確保

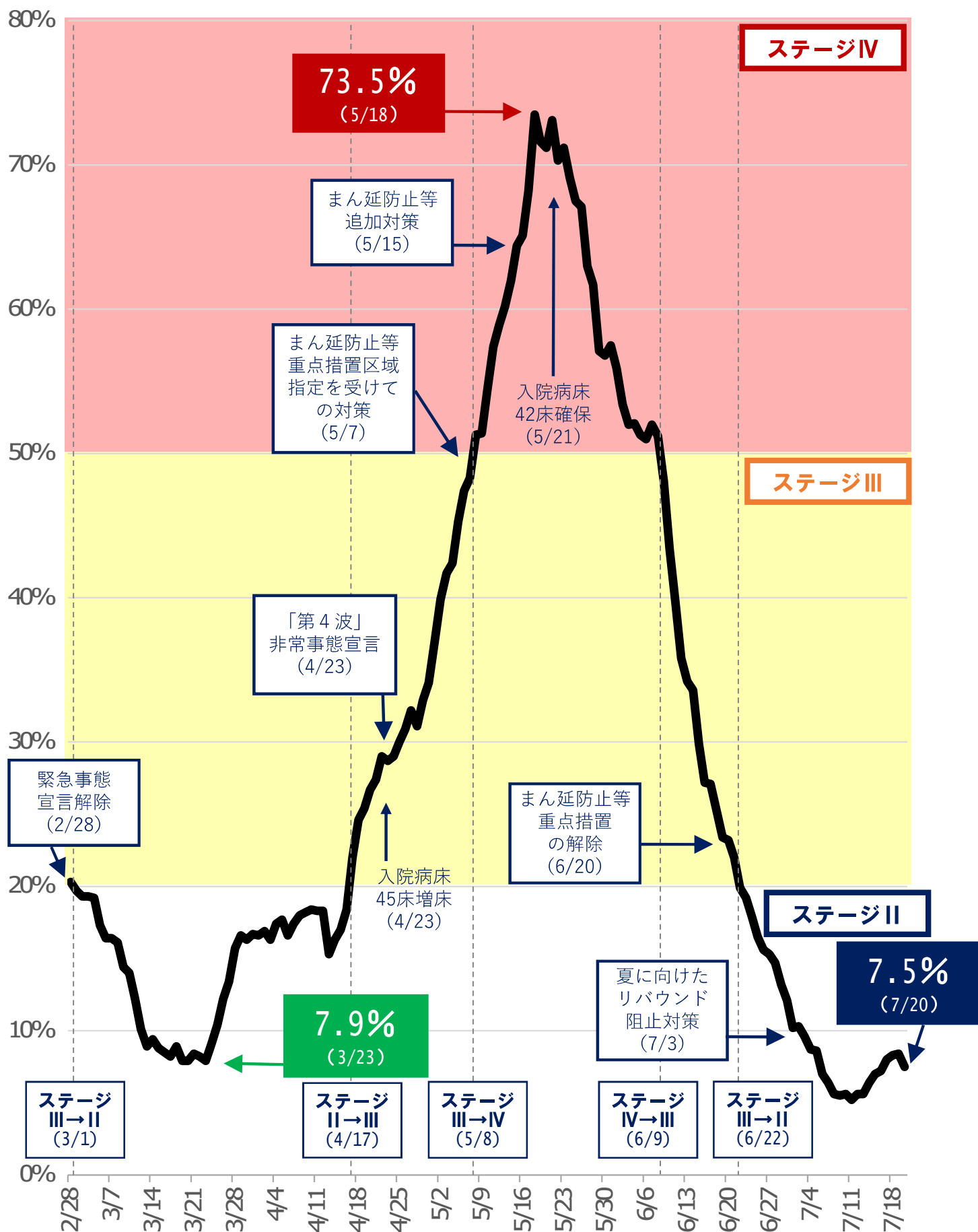
対策4 着実なワクチン接種の推進

- ワクチンの需給ギャップ解消（国への要請）
 - ・9月以降の供給予定の早急な提示
 - ・都道府県調整枠の拡大
 - ・大規模接種会場分のワクチン使途の柔軟化
- ワクチン接種体制の整備
 - ①市町村による集団・個別接種の着実な実施（外国人県民への接種含む）
 - ・7月末までに、希望する高齢者への接種は完了見込み
 - ・11月までの一般接種完了に向けて、市町村と接種計画を調整
 - ②市町村接種を補完する県の大規模接種会場における接種
 - ・岐阜圏域（岐阜産業会館）では歯科医師による接種を開始（8/7）
 - ・西濃圏域（ソフトピアジャパン）：7/17稼働開始
 - ・中濃圏域（岐阜医療科学大学）：7/17稼働開始
 - また、最大1,800人の外国人県民を対象とした接種も開始（7/24）
 - ・東濃圏域（セラミックパークMINO）：8/7稼働開始
 - ・飛騨圏域（飛騨・世界生活文化センター）：7/31稼働開始
 - ③企業、団体等の職域接種への支援
- 市町村における接種券の早期発行及び企業等のVRSへの迅速な登録

県の10万人あたり新規感染者数 (7日間移動合計)の推移と県の対策



県の病床使用率の推移と対策



岐阜県新型コロナウイルス感染症対策 (詳細版)

対策1 夏対策

(1) 夏の行事等のリスク回避

① 慎重な夏の行動

- ・ 昨年も、普段会わない家族の帰省による感染拡大が多発したことから、帰省は慎重に判断(特に感染拡大時期に感染拡大地域からの帰省は自粛)。
- ・ お盆休みの親戚同士の集まり、夏休みを利用した大人数の同窓会など、普段会わない人との会合・飲食は、感染リスクが高いため自粛。
- ・ 感染拡大地域への旅行、レジャーは自粛。
- ・ バーベキューは同居家族で。同居家族以外の大人数のバーベキューは、屋外や自宅の庭等であっても長時間飲食や深酒を誘引するため自粛。
- ・ 事業者は、夏季休暇の取得可能期間を幅広く設定し、従業員の休暇分散を促進。
- ・ 花火大会や夏祭りなど、入退場や区域内の行動管理ができないものは、人と人との間隔(デルタ株を意識して2m、最低でも1m)を設ける。困難な場合は開催の中止を検討。
- ・ 昨年夏の第2波の教訓として、隣接する愛知県、特に名古屋での酒類を伴う飲食は自粛。

② 出水期(災害時)への備え

- ・ あらかじめ自宅等の災害リスクをハザードマップで確認し、分散避難も含め、指定避難所や親戚・知人宅等の避難先を検討。
- ・ その上で、避難に備え、食料や飲料、生活必需品の他、感染防止に必要な物資(マスク、消毒液、体温計など)を確認し、備蓄を充実。

③ 熱中症予防とコロナ対策の両立

- ・ マスク着用時は激しい運動はやめ、頻繁に水分補給。多くの家庭用エアコンをはじめ換気機能がないエアコンの場合、稼働時も十分な換気を徹底。

④ 学校運営における夏季期間中の感染防止対策

- ・ 家族全員での感染防止対策や学校外での生活・行動への指導、PCR検査受検時の学校への連絡等を徹底。(夏休み前の保護者懇談等で周知済)
- ・ 練習試合等は日帰りを基本とするなど、部活動の感染防止対策を徹底。

(2) 東京オリンピック (7/23～8/8)・パラリンピック対策 (8/24～9/5)

① 東京オリンピック・パラリンピック観戦時の注意

- ・ 自宅や飲食店等での飲食・飲酒を伴う大人数のテレビ観戦は自粛。

② バブル方式による海外代表選手団事前合宿の感染防止対策徹底

- ・ 選手団及び受入れ自治体職員、宿泊・練習施設スタッフ、通訳、運転手等の関係者全員が専門家監修のマニュアルを遵守し、以下の対策を徹底。
 - 選手団及び関係者は毎日PCR検査を行い、陰性を確認
 - 宿泊、練習、移動などあらゆる場面で、手指消毒、マスク着用などの基本的な感染防止対策を徹底
 - 動線を分離するなど選手団と一般の方との接触を徹底回避
- ・ 選手団と接触する関係者に対し、引き続き計画的なワクチン接種を実施。

対策2 感染防止対策の徹底（継続）

(1) 県民の皆様へ

① 基本的な感染防止対策の継続

- ・ ワクチン接種後の方も含めて、変異株へも有効な以下の対策を継続。
 - マスク着用の徹底（できれば不織布。隙間なくフィット）
 - 手指衛生の徹底（頻繁な手洗い、消毒）
 - 密回避の徹底（密閉・密集・密接のどれか一つでも回避）
 - 体調管理の徹底（体調不良時には全ての行動をストップ）

② 慎重な外出・移動

- ・ 出張をはじめ、外出は必要性和安全性を考慮し慎重に。特に、首都圏など感染が拡大している地域との不要不急の往来は自粛。

③ 飲食時等の感染リスクの徹底回避

- ・ 飲食は、自宅を含めて、同居家族以外との大人数を避け、短時間で。深酒をせず、大声を出さず、会話時はマスクを着用。
- ・ 飲食は「新型コロナ対策実施店舗向けステッカー」掲出店舗で。感染防止対策が徹底されていない飲食店等の利用は自粛。Go To イートも同様。（Go To イート食事券の購入対象者は県内在住者に限定）
- ・ カラオケは飛沫感染のリスクが高いため、マスク着用など感染防止対策を徹底。これができない場合は自粛。

(2) 事業者の皆様へ

① 全ての事業者において、以下の取組みを徹底

- ・ 業種別ガイドライン遵守の徹底、「新型コロナ対策実施店舗向けステッカー」の取得促進。

- ・ 在宅勤務（テレワーク）、時差出勤、自転車通勤などの取組みを徹底し、企業ごとに在宅勤務等の実施状況をホームページ上で積極的に公表。
- ・ 職場における「ぎふコロナガード」（感染対策を監視し、健康状態を確認する責任者）を活用した感染防止対策の徹底。
- ・ 店舗、集客施設、イベント等における「岐阜県感染警戒QRシステム」の更なる活用を促進。

② ワクチン休暇の導入等就業環境整備

- ・ 従業員やその家族がワクチン接種を受けやすいよう、「ワクチン休暇」の導入を検討するなど、休暇の取得促進等、就業環境を整備。

③ 飲食店等における感染防止対策の徹底

- ・ 事業者は、マスク着用の推奨、換気の徹底、アクリル板等間隔の確保、手指消毒の徹底などの感染防止対策を徹底。
- ・ 「飲食店における飛沫感染防止対策事業費補助金（アクリル板補助金）」の補助対象期間を昨年度購入分まで遡るよう制度変更し、支援を拡大。
- ・ 飲食店等に対する「新型コロナ対策実施店舗向けステッカー」を認証制度として明確化し、対策が不十分な場合、取消しも視野に実地調査を推進。
- ・ クラスター発生の際に、県・市町村による現地調査を行い、マニュアルの作成等を通じて感染防止対策と営業再開を支援。
- ・ カラオケ設備を提供する場合の飛沫感染防止対策を徹底（マスク着用、パーティション等）。これができない場合は設備の提供を自粛。

（３）イベント等の開催制限

- ・ イベント等の催事については、主催者に対して以下のとおり要請。
 - 収 容 率：大声での歓声・声援がある場合５０％以内
 - ５千人又は収容定員５０％以内のいずれか大きい方
- ・ 花火大会や夏祭りなど、入退場や区域内の行動管理ができないものは、人と人との間隔（デルタ株を意識して２ｍ、最低でも１ｍ）を設ける。困難な場合は開催の中止を検討。【再掲】

（４）外国人県民向けの感染拡大防止対策の徹底

① ワクチン接種の促進

- ・ 外国人県民が集住する自治体においては、集団接種の実施にあたり、外国人への問診スキルのある医療従事者、通訳等を配備。
- ・ 県と中濃・東濃圏域の市町村が連携して、７月２４日から大規模接種会場において、外国人県民を対象とした接種（最大１，８００人）を実施。

② 予防的検査の継続

- ・ 教会、日本語教室、外国人学校、外国人県民を雇用する事業所において、国のモニタリング検査を活用した予防的検査を継続。

③ 雇用企業への働きかけ

- ・ 県と市町村で構成する「外国人県民感染対策チーム」による外国人雇用企業等への注意喚起を継続実施。

④ 重点地域（美濃加茂市・可児市）の対策

- ・ 感染拡大の一因となり得る派遣労働者送迎バス等の感染防止対策への支援（協調補助）を実施。
- ・ 感染防止対策を呼び掛けるのぼり旗やポスターを外国人県民が集まる教会や店舗などに設置するなど、コミュニティに対しきめ細かく啓発。

（５）広報

- ・ 県広報番組枠（テレビ・ラジオ）における感染防止対策の啓発を継続するとともに、映像コンテンツを、様々な施設、機会に活用。
- ・ SNS「岐阜県公式・コロナNEWS」を活用し、感染状況、対策、疾患の特徴、後遺症などの正しい知識について、きめ細かく情報提供。

対策３ デルタ株を念頭に置いた検査・医療体制の強化

（１）検査能力の充実と新たな変異株（デルタ株）の早期発見

- ・ デルタ株など新たな変異株について、次世代シーケンサーを活用（7/16稼働）し、保健環境研究所で陽性となった全ての検体の検査を実施。

（２）福祉施設での予防的検査の対象拡大

- ・ 高齢者・障がい者入所施設に加え、7月15日からは通所・訪問系事業所、ケアマネ事業所でも検査を実施。8月中旬から特別支援学校にも拡大。

（３）「自宅療養者ゼロ」堅持に向けた医療提供体制の拡充

- ・ 圏域を越えた受け入れ促進など病床を最大限に活用するとともに、今後の感染状況を踏まえて、宿泊療養施設の更なる入所要件の緩和を検討。
- ・ 確保済みの1,966床（病床783床、宿泊療養施設1,183床）について、最終的には2,000床程度を目指す。
- ・ 後方支援病床（115床）のさらなる増床を進めるとともに、関係者間で受入条件などの情報共有を徹底し、効率的な運用を推進。

（４）やむを得ず自宅療養を行う場合の備え

- ・ さらに感染力の強いデルタ株へ置き換わり、病床・宿泊療養施設が逼迫し、自宅療養を実施せざるを得ない事態を想定し、以下の体制を構築。
 - 適切な健康管理、体調悪化時の医療提供を可能にする体制
 - 隔離の徹底に必要な食料や生活必需品の支援体制

対策4 着実なワクチン接種の推進

(1) ワクチンの需給ギャップ解消

- ・ 国に対し、引き続き「9月以降の供給予定の早急な提示」、「都道府県調整枠の拡大」、「大規模接種会場分のワクチン使途の柔軟化」を要請。

(2) ワクチン接種体制の整備

① 市町村による集団・個別接種の着実な実施

- ・ 全市町村における7月末までの高齢者向けワクチン接種完了に対し、各市町村の状況に応じたきめ細かな支援を実施。
- ・ 11月までの一般接種完了を目標に、想定供給量に見合った接種計画(接種スピードを必要以上に落さない)とするよう、各市町村と調整。

② 市町村接種を補完する大規模接種会場における接種

- ・ 岐阜圏域(岐阜産業会館)で、8月7日から歯科医師による接種開始。
- ・ 西濃圏域(ソフトピアジャパン)、中濃圏域(岐阜医療科学大学)については、7月17日から稼働中。
- ・ さらに、東濃圏域(セラミックパークMINO:8月7日)、飛騨圏域(飛騨・世界生活文化センター:7月31日)についても会場を設置。

③ 職域接種の推進

- ・ 会場設営や運営を委託できる企業等の紹介や必要となる医師・看護師等について関係機関との調整を実施。
- ・ 申請した企業・団体等が円滑に職域接種を進められるよう、個別に状況を伺いつつ、必要な助言を行うなど、きめ細やかな支援を実施。

(3) 接種実績の迅速な把握

- ・ 市町村による接種に加え、国・県による大規模接種会場の設置や職域接種に伴う住所地以外での接種機会増加を見据え、接種券の発行を加速化。
- ・ 職域接種を実施する企業等に対して、VRS(ワクチン接種記録システム)の迅速な登録について徹底を周知。

(4) ワクチンの正しい知識の広報、差別防止の呼びかけ

- ・ ワクチンの効果とリスクを正しく理解し、自らの意思で接種することを、ホームページ、テレビ、ラジオ、SNSなど各種媒体により情報発信。
- ・ 接種を受けていない人、希望しない人に対する偏見や差別につながる行為を行わないよう啓発。
- ・ 職域接種を開始する団体に対し、接種の強制や差別的な扱いが行われないよう個別に要請。
- ・ 人権啓発センターによる、相談対応やネットパトロール等を実施。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に係る県内の事前合宿受け入れ状況

資料2-2

R3.7.20現在

入国日	選手団	合宿地		到着 空港	宿泊地			滞在 終了日
		人数	人数		岐阜市	恵那市	中津川市	
7月12日(月)	オランダ(ホッケー女子)	31		関西国際	31			7月18日(日)
7月18日(日)	ポーランド(カヌー)	19		成田		19		7月31日(土)
	カナダ(陸上)	50		成田	50			7月31日(土)
	アメリカ(レスリング)	61		羽田			61	7月31日(土)
7月20日(火)	カナダ(陸上)	26		成田	26			7月31日(土)
7月23日(金)	カナダ(陸上)	18		成田	18			7月31日(土)
7月25日(日)	ポーランド(カヌー)	2		成田		2		7月31日(土)
8月16日(月)	カナダ(パラ陸上)	25		未定	25			8月23日(月)
8月21日(土)	カナダ(パラ陸上)	7		未定	7			8月23日(月)
合計		239			157	21	61	

ワクチン総接種回数及び接種率（高齢者、都道府県別）

資料 2 - 3

（7月19日時点）

都道府県名	高齢者人口 （※）	接種回数		接種率			
		1 回目	2 回目	1 回目	順位	2 回目	順位
合計	35,486,339	29,211,153	21,289,629	82.3%		60.0%	
北海道	1,656,347	1,256,861	819,189	75.9%	47	49.5%	47
青森県	417,143	332,573	220,455	79.7%	42	52.8%	43
岩手県	405,394	315,014	210,389	77.7%	45	51.9%	45
宮城県	635,388	541,639	420,875	85.2%	14	66.2%	8
秋田県	360,083	305,162	187,722	84.7%	19	52.1%	44
山形県	358,208	320,232	241,533	89.4%	2	67.4%	7
福島県	576,837	477,959	350,409	82.9%	28	60.7%	28
茨城県	839,989	672,120	445,071	80.0%	41	53.0%	41
栃木県	555,063	442,072	280,655	79.6%	43	50.6%	46
群馬県	576,463	493,805	361,945	85.7%	12	62.8%	17
埼玉県	1,935,968	1,592,179	1,092,845	82.2%	31	56.4%	38
千葉県	1,702,637	1,393,302	960,221	81.8%	33	56.4%	39
東京都	3,122,050	2,507,323	1,887,145	80.3%	39	60.4%	29
神奈川県	2,304,899	1,903,092	1,356,920	82.6%	29	58.9%	35
新潟県	715,891	614,694	454,804	85.9%	9	63.5%	15
富山県	334,940	280,730	201,051	83.8%	23	60.0%	33
石川県	333,053	292,705	229,756	87.9%	5	69.0%	5
福井県	232,456	199,884	149,528	86.0%	7	64.3%	12
山梨県	249,117	211,660	155,761	85.0%	16	62.5%	19
長野県	650,867	557,192	402,196	85.6%	13	61.8%	24
岐阜県	600,871	543,698	443,537	90.5%	1	73.8%	2
静岡県	1,087,483	879,945	576,088	80.9%	37	53.0%	42
愛知県	1,873,042	1,608,390	1,274,153	85.9%	8	68.0%	6
三重県	529,547	440,332	330,972	83.2%	27	62.5%	20
滋賀県	365,681	324,027	234,429	88.6%	4	64.1%	13
京都府	737,018	594,247	457,762	80.6%	38	62.1%	23
大阪府	2,378,447	1,815,120	1,343,604	76.3%	46	56.5%	37
兵庫県	1,566,196	1,279,081	941,975	81.7%	34	60.1%	31
奈良県	416,789	351,602	261,000	84.4%	20	62.6%	18
和歌山県	308,934	265,106	216,594	85.8%	10	70.1%	3
鳥取県	176,788	150,559	115,387	85.2%	15	65.3%	10
島根県	229,369	183,931	137,817	80.2%	40	60.1%	32
岡山県	566,122	489,132	372,292	86.4%	6	65.8%	9
広島県	816,324	671,297	489,531	82.2%	32	60.0%	34
山口県	464,980	390,913	322,281	84.1%	21	69.3%	4
徳島県	242,908	206,373	155,462	85.0%	17	64.0%	14
香川県	301,588	246,207	187,621	81.6%	35	62.2%	21
愛媛県	441,678	368,654	258,149	83.5%	25	58.4%	36
高知県	245,686	202,499	149,775	82.4%	30	61.0%	27
福岡県	1,396,860	1,168,316	852,852	83.6%	24	61.1%	26
佐賀県	244,686	216,843	181,390	88.6%	3	74.1%	1
長崎県	433,727	352,488	261,200	81.3%	36	60.2%	30
熊本県	542,906	465,231	351,010	85.7%	11	64.7%	11
大分県	372,287	315,689	228,491	84.8%	18	61.4%	25
宮崎県	347,417	291,352	220,666	83.9%	22	63.5%	16
鹿児島県	512,711	427,447	318,822	83.4%	26	62.2%	22
沖縄県	323,501	252,476	178,299	78.0%	44	55.1%	40

※ 令和 2 年 1 月 1 日住民基本台帳年齢階級別人口（都道府県別）

県大規模接種会場におけるワクチン接種について

○接種状況(7/20 時点)

岐阜・西濃・中濃の3会場で延べ11,374名接種
(うち1,805名は2回目接種)

(1) 岐阜産業会館(岐阜市)[6/12 開設]

- ・15日間で延べ9,329名接種(うち1,805名は2回目接種)
- ・岐阜市及び各務原市在住の高齢者のほか、県方針に則り、医療系学生や警察職員などへの接種を順次実施
- ・8/7からはフル稼働に伴い、歯科医師による接種レーンを設置(1レーン)

(2) ソフトピアジャパン ドリームコア(大垣市)[7/17 開設]

- ・2日間で計1,527名接種
- ・県立学校教職員や警察職員などを中心に接種を実施

(3) 岐阜医療科学大学(可児市)[7/17 開設]

- ・1日で計518名接種
- ・県立学校教職員に加え、7/24からは、市町村と連携して、中濃及び東濃圏域の外国人県民に対する接種を実施

【接種者の内訳(3会場合計)】

対象者	延べ接種人数
高齢者	2,480
高齢者以外 ※保育士、福祉関係者 等	1,892
医療従事者のうち未接種者 ※会場従事の看護師 等	65
実習を控えた医療系学生	3,226
県立学校教職員	1,628
県警察職員 (うちオリパラ派遣者の数)	1,693 (233)
オリパラ関係者 ※事前合宿受入関係者、県バス協会 等	233
その他 ※会場従事の県職員 等	157
合 計	11,374

○今後の予定

- ・上記3会場に加え、7/31 に飛騨・世界生活文化センター（高山市）、
8/7 にセラミックパークMINO（多治見市）に接種会場を追加設置
(7/20 公表)

※東濃及び飛騨会場では、ファイザー製ワクチンを使用

【各大規模接種会場の概要】

会 場 名	開設期間	最大接種回数	ワクチン
【岐阜】岐阜産業会館	6/12～9/26	1,000 回/日	モデルナ
【西濃】ソフトピアドリームコア	7/17～9/ 5	1,000 回/日	モデルナ
【中濃】岐阜医療科学大学	7/17～9/ 5	1,000 回/日	モデルナ
【東濃】セラミックパークMINO	8/ 7～8/29	1,000 回/日	ファイザー
【飛騨】飛騨・世界生活文化センター	7/31～8/29	1,000 回/日	ファイザー

※今後国から示される供給量や供給時期に応じて変更

職域接種の進捗状況について (7/19 時点)

1 申請件数・接種規模

○申請件数は、72件（会場）

うち、国承認済 29件（58,750人分）※国審査後の接種予定人数

国審査中 41件（61,100人分）

取下げ 2件（2,200人分）

○接種規模別の会場数（国承認済・国審査中の会場）

1,000～1,999人・・・52件

2,000～2,999人・・・11件

3,000～4,999人・・・4件

5,000人以上※・・・3件

※内訳：約5,000人が1件、約6,000人が1件、約7,000人が1件

2 接種実績

27会場（54,450人）で接種を実施

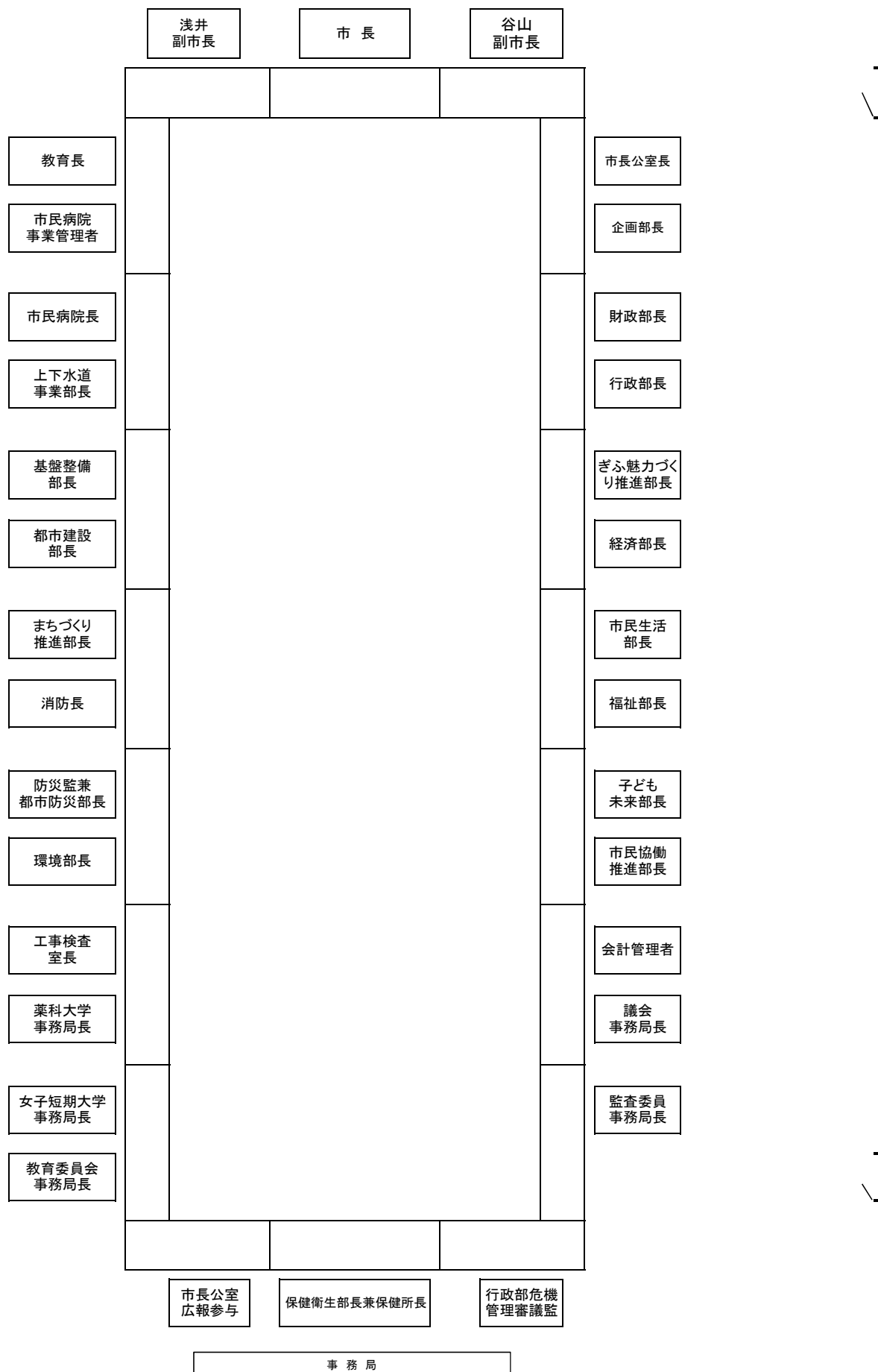
<1回目接種分>

会場数	接種予定者数※	接種実績	接種率
27	54,450人	38,696人	71.1%

※職域接種を開始した会場における接種予定者数

岐阜市新型コロナウイルス感染症対策本部会議席表

2021年7月20日



7月22日(木)～
8月31日(火)

新型コロナウイルス感染症

夏の感染リスクに十分な警戒を

6月下旬以降、市内の新規感染者は連日4人以下の低い水準で推移し、人口10万人あたりの新規感染者数（7日間移動合計）でも、7月20日時点で2.70人と、国の基準のステージⅡ以下を約1か月間維持することができています。

こうした中、いよいよ、人流が活発化する本格的な「夏」が到来します。昨年度の第2波でも、夏休みとともに感染者が急増しました。

加えて、感染力が非常に強いデルタ株への置き換わりが世界規模で進みつつあり、首都圏においてもデルタ株が増加し、第5波到来との指摘もあります。また、依然、東京オリンピック・パラリンピックを契機とした更なる人流拡大も懸念されます。

感染再拡大を防げるかどうかは、私達の行動次第です。ご自身のみならず、ご家族、ご友人の命を守るため、引き続き感染防止対策の徹底をお願いします。

令和3年7月20日 岐阜市長 柴橋 正直

市民の皆様・事業者の皆様へ

● 夏の行事等のリスク回避

- ✓ 帰省は慎重に判断！特に、感染拡大地域からの帰省は自粛を！
- ✓ 親戚同士の集まりや、大人数での同窓会など普段会わない人との飲食は自粛を！
- ✓ 感染拡大地域への旅行、レジャーは、自粛を！バーベキューは同居家族で！
- ✓ 事業者は夏季休暇の取得可能期間を幅広く設定し、従業員の休暇の分散をお願いします！
- ✓ 自宅や飲食店等で飲酒・飲食を伴う大人数での東京オリ・パラ観戦は自粛してください！
- ✓ 熱中症予防との両立を！
(マスク着用時は激しい運動はやめ、頻繁に水分補給。エアコン稼働中も十分な換気を)
- ✓ 出水期に備えた、災害時のコロナ対策の準備を！(マスク、消毒液、体温計など)

● 感染防止対策の徹底継続

基本的な感染防止対策の継続

- ✓ 「人との距離（できるだけ2メートル、最低1メートル）の確保」、「マスクの着用」、「手洗い・手指消毒」、「密閉・密集・密接のうち、どれか一つでも回避」、「体調不良の時は、全ての行動（出勤、通学）のストップを！」
- ✓ ワクチンを接種した方も、上記の対策の徹底を！

慎重な「外出」「移動」

- ✓ 出張をはじめ、外出は必要性和安全性を考慮し慎重に。
特に、首都圏など感染拡大地域との不要不急の往来は自粛してください！

「飲食」の際の感染リスクの徹底回避

- ✓ 自宅も含め、大人数・長時間での飲食は自粛してください！
- ✓ 飲食の際は、深酒なし！大声なし！会話時はマスク着用！をお願いします！
- ✓ 感染防止対策が徹底されていない飲食店等の利用は自粛してください！
- ✓ カラオケは飛沫感染リスクが高いため、マスク着用など感染防止対策を徹底してください！